

3 磐梯町の農業

(1) 田畑の広さとうつりかわり

磐梯町は、総面積の約63%が山林原野で傾斜地けいしやの多いところ
です。農地も大谷川にそったところに開けてきました。

昔は、水田を平らにするのがむずかしかったので、土地の
高さにあわせてつくられました。そのため、形や大きさのち
がう水田が大部分をしめて、トラクターのような大型機械は
なかなか使えませんでした。

町では、農地をひろげ、仕事のしやすい水田や畑をつくる
ため、1965年（昭和40年）ころから開拓かいたくパイロット事業、農
地開発事業、ほ場整備事業などを行なって、20アールと30ア
ールの農地につくりかえました。また、トラックの通れる道路
もつくったので仕事がとてもしやすくなりました。

このような仕事を実際に進めているのは、東部・中部では
「布藤ぜき土地改良区」、西部では「磐梯西部土地改良区」
です。

1991年(平成3年度)までに整備された面積は、水田577ヘ
クタール・畑263ヘクタール、合計840ヘクタールとなってい
ます。



ほ場整備される前と後の水田